今月の行事食

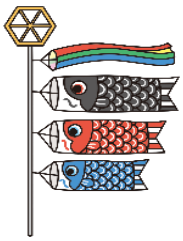
～八十八夜（5／1献立）～

「夏も近づく八十八夜・・・♪」という茶摘み歌を知っていますか？お茶の葉は、１年間に３～４回摘むことができます。その中でも、立春か数えて８８日目の日「八十八夜」のころに摘んだお茶は、うま味も香りも最高のものです。また、末広がりの「八」が重なることから、「八十八夜」に摘んだお茶は縁起がよく、この日の新茶を飲むと長生きができるいわれています。給食には行事食として、「まっ茶蒸しパン」を出します。

～端午の節句（５／６献立）～

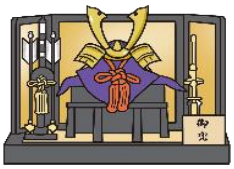
５月５日は子どもの日です。子どもの日は「端午の節句」とも呼ばれ、こいのぼりをあげたり、鎧兜をかざって、男の子の健やかな成長と幸福を願います。行事食として、「ちまき」や「かしわもち」、「カツオ」や「たけのこ」が食べられます。それぞれの食べ物には、「立派になってほしい」「健康でいてほしい」など、子供への温かい思いが込められています。給食には行事食として、カツオ（勝男にかけて）とたけのこ（まっすぐ元気に育ってもらいたいという願いを込めて）を出します。家庭でも、行事食を楽しみましょう！

こいのぼり



「鯉が激しい滝をのぼると竜になる」という中国の伝説から、人生で起こる難関を鯉のように突破し、出世してほしいと願う。

かぶと・よろい



「かぶと」や「よろい」は、命を守る武具であったことから、災いから守ってほしい、強くたくましく育ってほしいと願う。

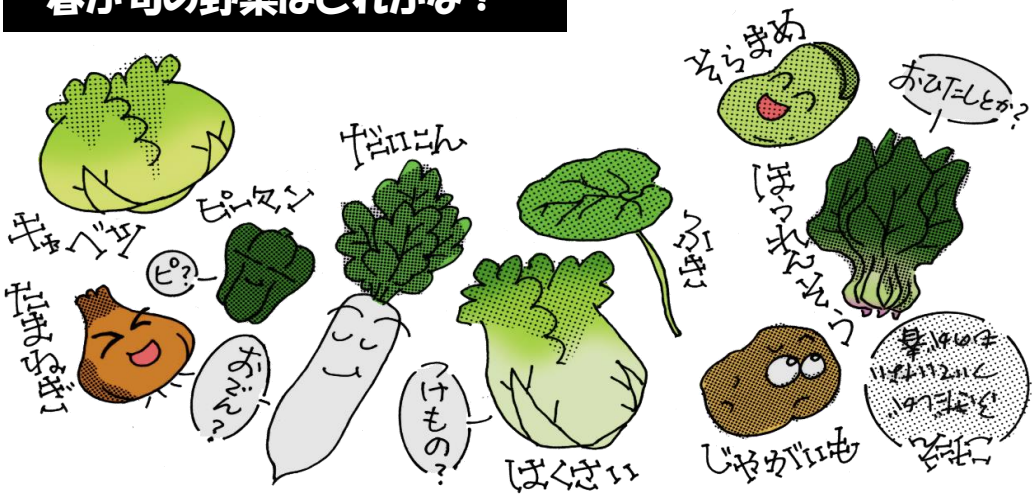
ちまき

「ちまき」には、病気や悪いことを払いのける力があるとされることから、災いが降りかかってこないようにと願う。

かしわもち

柏の木の葉は、新芽がでるまで古い葉が落ちないことから、「後継ぎが絶えない」「子孫繁栄」の縁起物とされ、健やかな成長を願う。

春が旬の野菜はどれかな？



5月の給食には、利根沼田産のたけのこや、春が旬の食材をたくさん使用します。何が旬の食べ物か、探しながら食べましょう！